

こころほく・人と生きもの・支えあう会

グループ代表 新堂泰江 〒222-0004 神奈川県横浜市港北区大曽根台 22-14 ☎045-543-5124 ✉shinshin720@hotmail.co.jp

★★★ 目次 ★★★

- ⇒ 「ツカサ君を応援してください」 K.F. p.1
- ⇒ 「おうちを探しています！」 K.F. / TNR 啓発 / 港北区猫ボランティア連絡会報告. p.2
- ⇒ 「マヤちゃんお礼」 K.F. / 「横浜市地域猫セミナー」 Y.O./ 管理人日誌 新堂泰江..... p.3
- ⇒ 「活動の足跡」「会計報告とお礼」「ご寄付のお願い」 編集後記..... p.4



「ツカサ君を応援してください」

K.F.

鶴見川付近にお住まいの方から「弱って動けない猫の保護を手伝って」とメールが来ました。

天気予報では夜から雨で寒くなるとのこと。動けないという点が気になり、仕事上の相談者さん抜きで様子を見にいきました。教えてもらった場所を探すと草むらにうづくまる白猫がいました。あたりは放置された生ゴミや猫缶の食べ残しなどが散乱し腐敗し、ジメジメと臭います。猫はあちこちの皮膚がただれ、耳の付け根は赤くむけて血が出ていました。白濁した片目は見えていないかもしれません。疥癬なら薬で治るし、捕獲するなら食欲があるうち、ということで早速捕獲器を仕掛けたところ、幸いすぐに捕まえることが出来ました。病院で応急診療してもらった結果は以下のとおりです。



- ダニ・ノミに血を吸われすぎて重度の貧血
(動けないのは貧血でフラフラだから)
- 下痢と回虫で栄養不足
- 掻き壊し・舐め壊し多数
(お腹は特にひどく毛が全然ない)

血液検査では内臓に大きな異常はなく、推定年齢7歳くらいの未去勢のオス、片目の白濁は小さい頃の風邪の影響、栄養不足で歯が大分抜けている、とのことでした。人なれして良い子なのでリリースはしないことになり、その後病院の先生やスタッフの方のケアで見違えるくらい白くてフワフワになりました。

順調に回復していく中どうしても痒みだけが治まらず、カラーをはずすと血が出るまで掻きむしるという状態が続きました。疥癬や耳ダニなら薬で

完治するので、別の病気の可能性を探っていたところ「てんぼうそう」という、とても珍しい自己免疫疾患の疑いが出てきました。

天疱瘡に効果のある免疫抑制剤を投与したところ大当たりで、徐々にかゆみは治まっているようですが

カラーを取るとまだお腹中心に際限なく舐めてしまうので、カラーとウェアはずっと付けたままです。

薬の量が定まれば退院も可能なのですが、適量を見極めるには薬を増減しその影響を見て

さらに血液検査で確認し、とさじ加減が難しいこと、退院した際の環境の変化や通院のストレスで症状が悪化するかもしれないことなどから、もう少し入院で行きましょう、ということになりました。

天疱瘡の場合、基本的には生涯薬を飲み続けなくてははいけませんが、免疫抑制剤はとても高価なお薬です。アレルギーで処方される比較的安価なステロイドは、今回ツカサ君には使えません。

猫は人間よりもステロイドに強いとされていますが、ツカサ君の症状を抑えるためには、かなり大量のステロイドを毎日飲ませる必要があり、短期ならまだしも長期的に服用させるのは副作用のリスクが大きいのです。

5月より多額の入院治療費がかかっており、皆様からのご支援が必要です。よろしく願い申し上げます。◎

参考：猫の天疱瘡 (てんぼうそう)

<https://www.konekono-heya.com/byouki/kankakuki/skin/tenpousou.html>



捕獲直後。警戒心でいっぱいです。



捕獲から数日後。すっかり安心してリラックス！



「おうちを探しています！」

K.F.

昨年から TNR を行っている大曽根商店街から、子猫が産まれたと連絡がありました。

1 匹は連絡くれた店主さんが保護、残り 3 匹と母猫は支えあう会で捕獲しました。子猫は全員感染症で目が開かず、体も小さく動きも遅かったので素手で捕まえました。「5 匹いた」と聞いていたので、どこかで弱っているのでは・・・とあたりを探しましたが、結局見つけてあげることが出来ませんでした。搜索の途中で、なんと別の親子猫を発見、こちらも子猫 4 匹と母猫を捕獲しました。

この商店街は昨年からですに 15 匹くらい TNR しているのですが、まだまだメス猫の取り残しがあります。餌やりさん情報を入手したのでお宅をピンポンしたり手紙をポストに入れたりしたのですが、無視されて全く反応がありません。私達が猫を捕獲に行ったり区役所が訪問したりしたので責められると思ったのでしょうか、最悪なことに餌やり自体を止めてしまったのです。猫たちは、周りにポツポツ餌やりしているお宅があるのでそこでもらったり、近くの町内会（地域猫活動に熱心なところ）に流れていたりして、なんとか食いつないでいるようです。

捕獲に協力くださる店主さん 2 名に、今後の餌やりをお願いしていますが、今まで安定して食べられていた餌場が無くなった影響は当然

大きく、捕獲した 2 組の親子もあまり良い状態ではありませんでした。

1 組目の子猫たちは 4 匹中 3 匹は猫風邪で目が開かない状態だったので、病院のスタッフさんが夜は自宅に連れ帰り、手厚く看病してくださいました。母猫に関しては餌場が一つ無くなったことに加え、授乳中ということもあり 2 匹ともかなり痩せていました。先生のご厚意で体力がつくまで病院で保護して下さることになり、後日無事手術を終えました。その後、2 匹とも大人しく人に慣れているのでリリースしないことになり、たまたま空気が出来た我が家で預かることになりました。

ゆうちゃんとはにかく食いしん坊。特技は食べたあとすぐ寝ること！人間のことは大好きですが、他の猫は少し苦手みたいなので 1 匹で飼ってくださる方が良いと思います。猫とまったり過ごしたい方にオススメです。

ハナちゃんは、ゆうちゃんより少しシャイですが、活発で遊ぶのが大好き。寝る間を惜しんで遊んでいます。猫が好きで我が家の猫たちとも上手に付き合っていますので、先住さんがいるお宅でも問題なしです。

感染症の後遺症で、目がショボショボしたり目やにが出たりします。

ちょっと前まで外で子育てしてシャーシャー言っていたとは思えないほど良い子達です。◎ お問い合わせ→info.sasaeukai@gmail.com



保護した子猫 3 匹 夏風邪で目が開かないとき

シャイなハナちゃん

食いしん坊 ゆうちゃん



子猫が産まれる前に TNR しましょう！

5 月初旬から、親子猫の捕獲依頼が相次いでいます。春先に産まれた子猫たちは、2 ヶ月を過ぎると独り立ちを始めます。育児から開放された母猫はすぐ次の妊娠に備え、夏～秋にも出産します。野良猫の平均寿命が 3 ～ 4 歳といわれているのはもちろん交通事故や病気・怪我のリスクが高いこととも思いますが、大人になれない子猫がたくさんいて、それを含めての平均だからです。

先日保護した 4 匹の子猫のうち 3 匹は感染症による結膜炎で目がほとんど開かない状態でした。極端に体が小さく食欲不振の子もあり、保護していなかったら間違いなく死んでしまっていたと思います。

ご近所さんによると、そこに子猫がいることを知っている人は大勢いて、

通りすがりに餌を置いていたり、「かわいい」と写真を撮っていたりしたそうです。治療が必要と考える人は誰もいなかったようです。

外で暮らす猫たちは、人間に都合の良い「癒し」でも「和み」でもなく、明日死んでしまうかもしれない命です。それに気づかない人がいるのは、悲惨な面は隠して「気楽に気ままに暮している」風に仕上げた野良猫の存在を肯定するテレビの猫番組の罪も大きいと思います。

幸い、4 匹とも元気になり新しい飼い主さんが見つかりましたが、ひっそりと死んでしまう小さな命の方が圧倒的に多いのです。不幸な子猫をこれ以上増やさないために、ぜひ TNR をしましょう。

子猫が産まれる前に、どうか避妊手術をお願いします。

注：TNR：飼い主のいない猫を Trap（捕獲）、Neuter（不妊去勢）、Release（解放）の頭文字をとって TNR

2019 年度「港北区猫ボランティア連絡会 第 1 回会議」のご報告

6 月 10 日に、港北区猫ボランティア連絡会の第一回会議が港北区役所で開催されました。港北区獣医師会、横浜市動物適正飼育推進員、横浜市動物愛護センター登録ボランティア、事務局として港北区生活衛生課が参加しています。区内のボランティアのそれぞれの活動と地域の問題点などの熱心な報告がありました。

活動の報告の中から、ルールに則り飼い主のいない猫の世話をすることは悪いことではないという事をエサやりをしている当人はもちろんのこと、地域の人たちへもっと働きかけていくことが出来ればと言う意見がありました。



「マヤちゃんへのご支援ありがとうございました」

K.F.

昨年の6月に瀕死の状態で保護され病院でずっと療養を続けていたマヤちゃんが6月12日に虹の橋に旅立ちました。

3月に今までにないくらい調子が悪くなり、先生はもうダメかと思ったのですが、なんとか持ち直し自分でご飯も食べるようになりました。

6月になりさらに調子が落ち込み、点滴や強制給餌など治療を続けましたが、マヤちゃんにはもうそれを受け入れる体力が残っていませんでした。猫にも人間にもフレンドリーで、お見舞いに行くたび私にも甘えてくれました。マヤちゃんのケージの隣に病院で飼っているうさぎがいて、最後の方はそのうさぎととても仲良くしていたそうです。

これまでの闘病をご寄付で支えてくださった方、お見舞いに行っ

マヤちゃんを励ましてくださった方、亡くなったあと、お花を手向けてくださった方、涙を流してくださった方。

マヤちゃんにかわり、心からお礼申し上げます。余命の短いとされる癌だったにも関わらず1年も頑張ることが出来たのは、みなさまからの厚いご支援のおかげです。

見ず知らずの、小さくてはかない命を大切に思ってください

本当にありがとうございました。
マヤちゃん、いつかまた会おうね。



横浜市地域猫セミナー（台東区の取組みについて）

会員 Y.O.

7/27 動物愛護センターで開催された地域猫セミナーに参加してきました。

今年は台東区東保健所から現場の一線で活躍される高松係長をお招きし、台東区の活動状況を伺いました。

会場は80名の定員ながら臨時のテーブルや椅子が用意され、テーマに対する関心の高さが窺えます。最後の質疑の場面でわかったことですが、中には地域ネコの活動の被害を受けている方もいましたが、そのような立場にあつて活動を理解しようとする姿勢は立派だと思います。このような立場の方を含め、これだけ



多くの人が参加している事実は、この問題が大きな関心事として社会で認識されてきたことの証でもあります。なお、ここで教えていただきましたが、そもそも地域猫という概念や言葉は、横浜市発

祥だそうです。

さてセミナーですが、台東区という場所柄、登場する地名に馴染み深いものが多いのですが、ネコで有名な山谷商店街や上野公園の地域ネコ活動などのお話は臨場感たっぷりです。

印象深かったのは、不審者と疑われボランティア活動がやり辛かったので腕章を作ったという話でしょうか。地域ネコとして認定されるのは3名の登録が必要とのこと、横浜市でも大きな違いはないかもしれません。

しかしながら、考えてみれば、我々の活動の中でも一番苦労するのは、むしろ地域ネコとして認知される前段階のように思います。

毎日家の近くにいるネコの具合が悪そうだ、誰かほかにもエサをやっている人がいるらしい、といったレベルの話であれば、なかなか地域ネコとして行政に後押ししてもらうのは難しい気がします。終わってから愛護センター職員の方と少し話しましたが、やはり支援の網にはかからないと言われてしまいました。台東区ではどうしているのかと肝心の点を質問しそびれてしまいました。



管理人日誌 2019 突然真夏がやってきた



横浜は日に日に気温が高くなり外で暮らす猫たちは大変です。

それでも梅林や緑道のように土のある所は気温が1~2℃低いようです。アスファルトの道路から中に入るとホッとします。梅林では刈り取られないように目印を付けた山百合が満開となり、カラスの雛が今年はたった一羽で少子化が更に進んでいるようです。

5月に相棒の犬が亡くなり、さみしい日々です。猫のエサやりも



梅林の斜面に咲く山百合

彼女がいたからこそ、心強く続けることが出来ました。一人でのエサやりは間の抜けた感じです。それでも、夜管理人が緑道のエサやりのために一人トボトボ歩いて

いると、向こうの角で彼女の友だちが気づいて飼い主さんを待たせて管理人をじっと待ってくれるのです。この時の嬉しさ、悲しさ、犬ってなんて可愛いのだろう、亡きルカにもお友だちのキイチちゃんにも感謝の気持ちがこみあげてきます。

大倉山へ越してきてすぐに骨折した捨て犬を飼い始めて40年近くになります。保護犬ばかりで極端に警戒心の強い犬、リタイア盲導犬もいました。ホームレスさんから譲り受けた利口な犬もいました。ずっと犬と猫と暮らし続けてきました。梅林に捨てられて仕方がないから犬を飼っているのだと思っていましたが、管理人は犬が大好きなのだ最近気づきました。もっともっと犬と暮らしたいと思いますが、人生の店じまいの準備をしなければならぬ年齢となり、生きものを相続させられる人たちの事を思うとこれからは我慢していかなければなりません。

大倉山公園自主管理人

新堂泰江





活動の足跡



●1月(2019年)

- ・ニュースレター発行
- ・大曽根商店街 捕獲器設置するもカラスが寄ってきて未達成
- ・篠原町からの相談で捕獲応援に行くも既に耳カットあり

●2月

- ・港北区役所からの紹介 菊名4丁目宅 捕獲器貸し出し 捕獲・運搬・手術代 相談者負担
- ・港北区猫ボランティア連絡会参加

●3月

- ・タヌキに関する相談対応
- ・餌やりしている猫を家で飼うことに関する相談対応
- ・猫の脱走対策に関する相談対応
- ・大倉山1丁目で頬が腫れている猫への投棄開始

●4月

- ・鶴見川にいる弱った猫に関する相談。支えあう会で捕獲し病院へ搬送。
- ・8月現在まだ入院中。(ツカサ君)費用の一部は相談者が負担
- ・餌やりの場所に関する相談対応
- ・イエローシートキャンペーン 2018年下期贈呈式

●5月

- ・大倉山1丁目の投棄中の猫(頬の腫れ)を保護し病院へ(入院治療後ボランティア宅で引き取り)
- ・樽町3丁目 近隣住民からの相談 母猫 子猫4匹保護 費用は関係者が負担(母猫も含め全員それぞれ新しい飼い主宅へ)
- ・大曽根商店街 2家族の保護始まる 費用は支えあう会負担
- ・大倉山1丁目弱っている猫の保護相談。相談者が保護し病院への搬送は支えあう会が協力 そのまま入院(腎不全)

●6月

- ・大曽根商店街母猫2頭 子猫8頭保護 ラヴィ動物病院 費用は支えあう会負担。子猫は全員新しい飼い主へ 母猫2頭は支えあう会ボランティア宅預かり。商店街周辺は未手術の猫が点在 地域での取り組みはなし、エサやりを責めるのみ
- ・大倉山1丁目保護され入院中だった腎不全の猫 退院し相談者宅で引き取り。入院費は支えあう会が一部カンパ 今後の治療費についても一部カンパの予定
- ・横浜市動物愛護センターのボランティア登録更新
- ・動物病院で入院中だったマヤちゃん天国へ
- ・港北区猫ボランティア連絡会参加

●7月

- ・小机から親子猫の捕獲相談(区役所経由)。母猫と子猫4匹捕獲。母猫は手術後リリース。子猫は動物病院で家猫修行のあと譲渡会に参加予定。費用は相談者が全額負担
- ・横浜市動物愛護センター開催の地域猫セミナーに参加
- ・小机から、新たな子猫の保護相談(こちらも区役所経由)。現場に行くも子猫・母猫ともに見当たらず、近隣で餌やりしているお宅で捕獲開始。7月末で3匹 TNR。費用は全額相談者負担。
- ・怪我をしている猫の保護相談対応。



会計報告とお礼

2019年1月～2019年7月末



銀行振り込みや郵便振替などでいつもご寄付をいただき感謝申し上げます。今年よりクレジットカード、や不要になったブランド品からもご寄付をいただけるようになり、既に多くの皆様よりご寄付を頂きました。直接お礼を申し上げるべきところ、紙面でのご挨拶をお許しください。また、お忙しい中お手渡しくださる皆様にも重ねてお礼を申し上げます。

猫たちの餌代は原則ボランティアが各自負担していますので、ご寄付は猫たちの手術・治療、運搬、事務費などに使わせていただきます。誠にありがとうございます。

	収入	支出
2018/12月末繰越金	267,159	
寄付金	443,560	
会費	10,000	
市助成	55,000	
雑収(はがき販売)	1,200	
医療費		569,315
通信費		13,300
印刷費		11,240
雑費		4,732
小計	509,760	598,587
2019/7月末 残高	178,332	

※前回の会計報告の残金に誤りがありました。申し訳ありません。1月の開始残高は、正しくは267,159円です。訂正します。

ご寄付のお願い

本誌で報告させて頂きました通り、見捨てる訳にも行かない保護猫の医療費の負担が大きく残高が心もとない状況です。ご支援、どうぞよろしくお願い致します。

【会費・寄付金振込先】

三菱東京UFJ銀行 大倉山支店 普通 0008270
郵便振替 00270-6-54901

こうほく・人と生きもの・支えあう会



支えあう会の寄付サイト
クレジットカードが使えます



家にある不要なブランド品
ダンボールに詰めて送って
寄付となります。

よろしく
お願いします。



◎ 編集後記 ◎

猫好きが高じてスナドリネコの保全活動に関わり始めた。町中のイエネコであっても、サバイバルは厳しいのに、発展途上国で生きるスナドリネコのような中型の肉食動物のサバイバルはもっと壮絶だ。競争相手は貧困に陥っている人間だ。生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学-政策プラットフォーム(IPBES)が発表したアセスメント報告書(2019年発表)によれば、地球上の**100万種が絶滅の危機**におびやかされている。人間のエゴから動植物を守る効果的な仕組みは無いものかと、悩み・考えるこの夏。暑い!暑すぎる!

ニュースレターのご意見・お問合わせは、編集担当:後藤尚味☒gotonaomi419@gmail.com まで◎

BLOG: <http://sasaeaukai.blog17.fc2.com/> **WEB**: <http://sasaeaukai.web.fc2.com/>

●こうほく・人と生きもの・支えあう会とは・・・

港北区で生活する人々や動物にとってやさしい地域をつくることをめざしています。具体的な活動内容は; ①飼い主の居ない猫の不妊・去勢手術と保健衛生、②ファンドレイジング、③給餌活動、④啓発活動、⑤まちづくり、⑥広報。 当会では、随時会員を募集しています。